

野瀬町長の辞職勧告決議

7月25日に可決した辞職勧告決議を紹介します。(小見出しは編集者)



本議会は、甲良町長 野瀬喜久男君の辞職を勧告する。

以上、決議する。

令和4年7月25日

甲良町議会

理由

「職員力の向上」にほど遠く

野瀬町長は、「行政力の再生」、「職員力の向上」、「日本一の甲良町にする」と公約し、就任から4年8か月（その間に2回町長選挙あり）経過したが、一向に行政力は高まらず、職員の不正、非行、義務違反等があっても相当な処分と適切な指導もできず、職員の資質、能力アップの取り組みもしていない。

むしろ、行政力は低下し、職員力は落ちている。日本一の甲良町は、「恥ずかしい町」から脱することもできていない。

朝令暮改

野瀬町長は、職員との協議で結論や指示を出しても、また議会でそのようにしますと決めたことでも、すぐ気が変わり、撤回、変更することが多い。

財政危機招いた責任重大

また、ここ4年の、放漫かつ無駄の多い財政運営で、とうとう財政危機宣言を発せざるを得

なくなった町にした責任は大きいものがある。

なお、職員の停職処分をめぐる裁判で敗訴した。判決理由から勝ち目がないから控訴は断念すべきとの議会の意見を無視して控訴したが、それも「控訴棄却」で敗訴した。

裁判の敗訴に反省ナシ

町長は、本会議において、敗訴したら責任を取ると言明し、その責任は辞職かと問うと、その通り（お見込みの通り）と答えて、辞職する旨を言及した。

にもかかわらず、「裁判で負けても辞職しません。最高裁へ上告します。」と開き直り「控訴棄却」の敗訴を不服として、6月13日に「最高裁判所」へと上告した。もうこれは常軌を逸している。

重要課題 町政の舵取り困難

さらに、今後の町行財政課題は大きくて多い。それは、人口減少対策と過疎対策及び財政再建、総合発展計画の具現化、町民福祉と教育の町づくり等々である。

これらの対策及び計画の推進は、現況の野瀬町長では困難であり、到底成しえない。

よって、野瀬町長では、町の発展・向上は望めないことから直ちに辞職するよう強く勧告する。



西澤議員の賛成討論（要約・抜粋）

決議案にある辞職を求める理由を全面的に賛同するとともに、私としては次の内容を強調します。

一つは、過疎法適用と財政危機宣言に関して、な

ぜ、その事態に陥ったのか、甲良町政のおかれている内外の状況はどうか、との分析、検証が大変弱く浅いことです。根本的な原因を考えることをしているのか大変疑わしいことです。それは除雪対策で、新年度早々除雪面積4割削減をまちづくり協議会にて発表したことに象徴的に表れています。国・県への要請を強めるなどの色々な選択肢を示さないまま区長さんなどに発表し、当然ながら猛反発を受けました。

また、本年度の当初予算編成をめぐって、米寿祝い金、透析患者交通費補助、インフルエンザ予防接種本人負担倍増など町民生活にかかわるささやかな予算を無慈悲にカットしました。幹部職員と協議することなく、町長としての方針を語り、説得する協議の場を設けることなく、一方的に決められたとのことでした。

ある区長さんからは、「町長と担当課長の言っていることがまるで違う、しかも公の場でまとまりのない事態になって、どうするんや」などの声が寄せられています。

これらは、町長としての信念を貫き、町政のかじ取り、方針の示し、職員が実務を行うというキャッチボールが、きわめて困難になっている深刻な野瀬町長の行き詰まりの実態が表れています。その最大の原因は野瀬氏自身の職員時代も含め、あやまち、不祥事などに対し、根本からの総括と反省ができていない、いえ、する意思が大変疑わしいところにあると思います。

以上のことから、胸に手を当て、よ〜く考え、自ら身を引くべきだ、と申し上げ、賛成討論とします。

安心して住める町に 議員提案で前進へ

業・生・業・業・業・業
護・介・優・先・で
く・ら・し・こ・そ
子・育・療・こ・そ

物価高騰のおり、家計助かる！ 小・中学校・保育園・幼稚園の給食費

9月から完全無償化実現！

甲良町議会 6月臨時会が 25 日開かれ、学校給食費無償を 2 学期（9 月）から実施する一般会計予算が上程され、全会一致で可決しました。日本共産党甲良町支部と西澤議員が以前から繰り返し要求し、教育委員会も実施の意向を示していたもの。西澤議員が賛成討論を行いました。

来年度以降も無償化継続

一般会計補正予算の提案に当たって、教育次長は、議員が再三要請してきたことを要因の一つに挙げ、政府の コロナ禍における原油価格・物価高騰に伴う学校給食費支援「指針を受けて、このさい無償化に踏み切った」と説明。西澤議員の「次年度以降も継続すべきでは」との問いに「財源を工夫しながら継続する」と答弁しました。

西澤議員の賛成討論要旨を紹介し
ます。小見出しは編集者）

☆ ☆

新型コロナウイルス対策の地方創生臨時交付金の活用がきっかけになったとは言え、子育て世代の応援だけにとどまらず、子どもへの投資、家計応援と、更には長年懸案になっていた滞納問題に根本的解決となること、大いに評価したいと思います。

給食費の滞納解決を

そのうえで、滞納世帯に対する対応とその問題を解決する具体策と決意を町民に示して、住民合意を整える必要を提起したいと思います。この間、教育委員会部局で検討を重ね、青山教育長の元で、実現の決断に至ったこと、それも、財政危機宣言を町長が発した状況下で町民の負担軽減の願い、義務教育無償の原則に添えようとしたことを歓迎するものです。

開発・ハコモノより

くらし・子育て優先を

これを機会に、身近な町政は、開発・ハコモノより、住民への直接支援となるくらし・子育て・教育優先を貫くことが、とても重要だと提起しておきたいと考えます。

無償化・食材支援の対象、予算額など (令和 4 年度予算をベースに作成)

名称	人数	月額給食費
第一保育園	65 人	3100 円
第二保育園	54 人	
東幼稚園	5 人	3100 円
西幼稚園	11 人	3800 円
東小学校	190 人	
西小学校	145 人	4300 円
中学校	165 人	
合計	635 人	—

幼・小・中の給食費無償となる総額 14,226 千円
保育園給食の無償となる総額 2,583 千円

給食の賄材料支援分
予算：保育園 855 千円、幼稚園 95 千円、
学校 2,736 千円
今年度（7 カ月分）無償化・食材支援の
合計額 20,495 千円

給食費無償化 県下の実施状況

- ・長浜市小学生のみ
- ・高島市小・中学生無償
- ・日野町小・中共に
主食の米代無償
- ・豊郷町小・中学生無償

その他、新築資金貸付返還を求める訴訟（町が原告）で町が敗訴したため、大阪高裁に専決処分（議会の承認を得ず）にて控訴したことへの承認を求める議案が提出され、賛成 2、反対 8 で否決されました。

住宅自然災害(雪害)支援金

申請状況＝23 日現在 73 件・支援額 7,914,000 円。
臨時議会で報告されました。3 月議会で議会側の
予算修正で制度化されたもの。予算額 1 千万円。
◆申請希望者は役場総務課まで。

野瀬町長の辞職勧告決議 可決！

25 日の臨時会において建部議員（提出者）を含む 9 人の連名にて野瀬町長の辞職勧告決議案が提出され、賛成 9、反対 1（野瀬議員）の賛成多数で可決しました。西澤議員を含む 4 人が賛成討論を行いました。

野瀬町長は閉会あいさつで、批判される点は改善の努力をするなどと述べ、続投に意欲を示しました。（決議全文は裏面参照）

甲良民報

2022年6月5日 861号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士 373（西澤）
Tel：38-4949 Fax：38-2242

ご相談・ご要望をどうぞ。

☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38 - 4949 丸山光雄 38 - 3123

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】